橘町の見どころ

まちの歴史シリーズ ⑭

橘町HP　https://tachibana-net.jp　歴史・史跡もクリック

発　行：橘町まちづくり推進協議会
ふるさと部会
発行日：令和５年８月１日
責任者：國平　安治
事務局：橘公民館　22-3884

今月号の案内者は
潮見区長　吉永秀徳さん

クイズ
渋江公師って誰？

きみもろ

どうする公 師

しおみじょうらくじょう
潮見城落城（潮見）

●落城　その時

時は戦国時代、潮見城下に敵兵が攻め寄せた。突如、潮見大明神の神の子が現れ「城内の鉄砲を持ち出せ」と宣託★①をのたまうと・・・。

●どうする!?公師

攻めたのは有馬軍★②でした。城主は第15代公師★③。「どうする？公師」★④なぜ鉄砲★⑤？

●初代橘氏は橘公業　治世は３２７年も

昨年の第1号では、橘公業が1237年に長島庄（今の橘）に来たことを紹介しました。それから327年間（1563−1237）という長い間、橘氏は長島庄を治めました。これは徳川時代よりも長い期間になりますね。後に渋江を名乗ります。

●渋江氏のその後

その後、塚崎にいた後藤氏に領地を浸食されていきます。戦国末期の公師の時には、後藤氏に山鹿から呼び戻され★⑥て潮見城を守りますが、有馬に攻められ敗戦。弟公重は戦死。渋江氏の末裔は、その後、波佐見や菊池★⑦で生き延びていきます。

①潮見城の場所（山城は山頂、館は麓に）

★印番号の解説

★①大明神の御宣託が！

永禄6年注）（1564）。島原の有馬軍が攻め寄せました。潮見大明神の神の子が現れて・・・。

注）永禄３年の説もあり（中島信夫著「橘町の歴史」）

★②有馬軍

有馬氏は鎌倉時代に島原に起こった豪族で、杵島郡周辺まで所領を拡大し、長島庄へ進出します。

★③公師

１３代渋江公勢の時勢力が最大になりますが、有名な日鼓城の悲劇が起こります。末子の公親（14代）が家督を継ぎ、その子が15代公師。公親・公師親子と後藤氏の関係は裏面「うんちく」参照。

★④どうする!?公師

有馬がニセの宣託を使って鉄砲を持ち出させようとしたのでした。この時、公師・公重兄弟は「たとえ御宣託であっても持ち出すべきではない」と言いました。しかし、親である公親が「大明神のお陰で旧領を取り戻せたのだから疑うべきではない」と言って、鉄砲を持ち出すことになったのです。

★⑤なぜ鉄砲？

鉄砲が渡来したのは 1543 年、種子島に漂着した外国船から伝わったのは有名な話。この島は種子島氏が領地していました。「種子島は橘氏始祖、橘公業が領有していたので永禄3 年に潮見城に鉄砲があったのは何ら不思議ではない」と橘町史の著者は述べられています。また鉄砲を実戦に使用した記録の最初は長篠の戦とされるが、これより 15 年前に潮見では鉄砲を用意していた」とも述べられています。

★⑥山鹿から呼び戻されるとは？

日鼓城の騒動で、公親が跡をつぎましたが、この機に乗じて後藤に養子に出されていた純明が日鼓城を攻め、公親は母親の里波多氏の岸嶽城に落ち延びました。一時、城を取り戻したこともありますが、再び敗れて公親は龍造寺、子の公師は山鹿を頼りました。（④～⑥：中島信夫著「橘町史」より）

★⑦菊池に生きる

菊池市内渋江一門の墓

弟の公重は、菊池の娘を妻にしていましたが戦死。その子孫は、菊池で文教の祖として重きをなしました。今でも菊池城の一角に一族の墓があり、大事に守られています。

編集後記

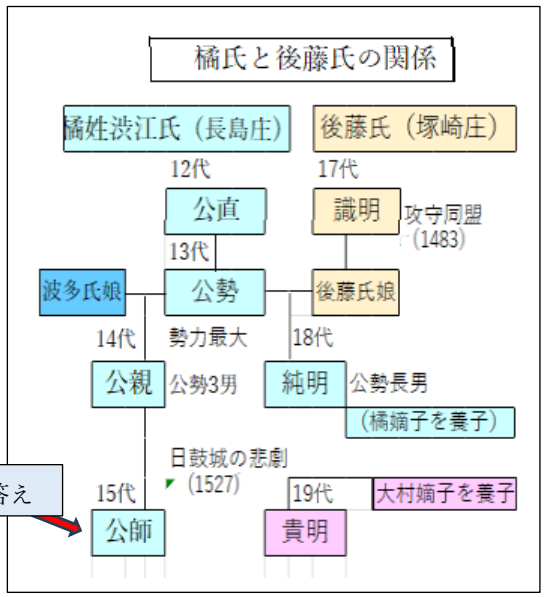
１周目は発掘調査中心でしたが、２周目は時代をアラカルトにしたいと思っています。みなさんの声をお寄せください。（宮）

「たっぱくん」

今日の　う・ん・ち・く

渋江公勢（第 13 代）と後藤氏（橘と武雄の関係）

- 約８００年前、公勢が長島庄に来たのは、幕府から「惣地頭」（複数の地頭を束ねる）として派遣されたから。
- 今でこそ武雄町が武雄市の中心ですが、この頃の勢力図としては長島庄の中の一部（温泉付近）に塚崎庄があり、庄官として後藤氏がいたのではないかと武雄市史に書かれています。
- 月日が下って 13 代公勢が全盛時代と言われていますが、奥さんは後藤識明（17 代）の長女。識明は男子がなかったので、公勢の嫡子を養子にしました。
- 後藤純明と言います。右に橘氏と後藤氏の関係を示します。
- 嫡子を養子に出すのは養子先を支配する意図もあったのかも。
- 純明が日鼓城を奪ったのは、「母方波多氏の支配を恐れたから」とも「いずれ有馬・竜造寺・千葉に奪われる恐れもあったから」などと推論されています。



今回のご紹介した遺跡は『戦国時代』のものでした

注）下表の年代は諸説あります

時代区分	旧石器時代	縄文時代	弥生時代	古墳時代	奈良時代	平安時代	鎌倉時代	南北朝・室町・安土桃山時代	江戸時代
年代	～前14000頃	前14000～前5C半	前5C半ば～3C	3C～7C	710～794	794～1185	1185～1333	1333～1603	1603～1868
主な市内遺跡 赤書は橘町	草場・おつぼ山第１水門・南楢崎遺跡。若木町小路遺跡、中野の黒曜石、柏岳サヌカイト	市場・下貝原・釈迦寺遺跡等の遺物。市内200カ所以上。阿舎利・椿原遺跡（山内）	小楠-みやこ遺跡の環濠。潮見川流域・釈迦寺等遺跡、市内100カ所以上。東宮裾遺跡	町内遺跡の鏡、銅剣。玉江遺跡、玉島・潮見古墳、おつぼ山神籠石、東福寺 武雄平野を取り囲む山の周辺で300基以上	肥前風土記と歌垣山、井手橋・林副（墨書土器）ドウザマ墓地 立石と官道 小野原遺跡 武雄温泉 広福寺仏像向野須恵器窯跡（北方）郡衙施設	長嶋庄成立 橘町条里制 庄の前遺跡 おつぼ山経塚 長島庄が蓮華王院領 武雄神社、黒尾神社、各地の経塚、佐賀県最古の文書（実検状）歓喜寺薬師如来像	潮見城跡と館跡、潮見川流域・馬場・立岩等の中世遺跡、潮見川開削と河童誓文石、渋江・中村・中橋氏館跡 源頼朝御教書 塚崎庄が長島庄から分離	北肥戦史等による北部九州動乱、渋江氏勢力拡大と日鼓城の悲劇、**潮見譲落城と鉄砲**・丹宗堀塚崎庄拡大、武雄・黒尾社、後藤が渋江攻略、肥前古窯跡と古武雄	三法方郷（橘は本藩・蓮池・後藤領） 鳴瀬宿と御狩場、長崎街道 上野本窯・皿山窯跡 南部系窯跡後藤鍋島藩の蘭書、大砲等 北方炭鉱